

2024 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：サイエンス探究アドバンスト

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として	2. 社会/実践を通して
3. 知識を大事に	4. コミュニケーションを通して
5. 生徒・教員が共に	
<オーナーシップ/一人称> <PBL 型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<b>【知識・技能】</b> ・現在わかっている基本的な生命現象について、ミクロ（分子・細胞レベル）からマクロ（個体・生態系レベル）の知識を統合して説明できる ・サイエンスに関する論文・記事を読み、その内容を科学的に正しく説明できる	
<b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる ・得られたデータを客観的・論理的に考察し、一連の研究をプレゼンテーションや論文でアウトプットできる ・サイエンスに関する論文・記事や、他者の発表に対して、科学的思考に基づいて質問ができたり、疑問を持ったりすることができる	
<b>【学びに向かう力・人間性】</b> ・さまざまな自然現象に対して「おもしろい」と感じ、自発的にさらなる情報を探索して知識を身につけることができる ・環境問題について関心をもち、科学的思考に基づいた判断や行動ができる	
下位学習目標	
<b>【知識・技能】</b> ① 遺伝子とそのはたらきについて科学的に説明できる ② 生物の進化とそのしくみについて科学的に説明できる	
<b>【思考力・判断力・表現力】</b> ① クラスメイトの研究内容に対し、科学的思考に基づいて質問ができる ② 疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる ③ 得られた実験結果、データを客観的に分析し、考察することができる	
<b>【学びに向かう力・人間性】</b> ① 疑問をもったことに対して、自発的にさらなる情報を探索する ② アドバイスを待つのではなく、自発的に考え、意見を求め、研究を進めていく	

授業日	10/1(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 10 回		
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・各自の研究テーマの実験や観察を進め、データを取っていく				
時間 授業内容	5・6 限	Sci-Tech Research Forum での発表についての説明 研究活動（実験、観察、サンプル採集、試薬調製、データ整理など）			
評価方法	● 実験ノートの評価の観点				
	観点	A	B	C	D
	取り組んだ実験、思考 内容、考察等が第 3 者にも分かるように書 かれて いるか（質）	極めてわかりやすくか つ論理的に書かれてい る	おおむねわかりやすく かつ論理的に書かれて いる	理解が難しい部分があ る	ほとんど内容が伝わら ない
書かれている内容は、 2 コマの時間を基準と して、十分なボリューム か （量）	+αの作業に授業時間 外にも取り組んでいる と判断できる量である	妥当な量である	少ない	ほとんど書けていない	
※基本事項（日付の記載がされているか、時系列に書かれているか、ペン書きがされているか）が守られていない場合は減点					
宿題指示	今週進めた内容と次週の予定を記した実験ノートの写真を提出。Sci-Tech Research Forum への登録情報を記述してくる。				